

## 15日 火曜

### 創世記



47:13 飢饉が非常に激しかったので、全地で食物がなくなり、エジプトの地もカナンのもも飢饉によって衰え果てた。

47:14 ヨセフは、エジプトの地とカナンの地にあった銀をすべて集めた。それは人々が穀物に対して払ったものである。ヨセフはその銀をファラオの家に納めた。

47:15 エジプトの地とカナンの地に銀が尽きたとき、エジプト人はみなヨセフのところに来て言った。「私たちに食物を下さい。銀が尽きたからといって、どうして私たちがあなた様の前で死んでよいのでしょうか。」

47:16 ヨセフは言った。「おまえたちの家畜を差し出さない。銀が尽きたのなら、家畜と引き替えに与えよう。」

47:17 人々がヨセフのところ到家畜を引いて来たので、ヨセフは、馬、羊の群れ、牛の群れ、ろばと引き替えに、彼らに食物を与えた。こうして彼はその年、すべての家畜と引き替えに、彼らに食物を分け与えた。

47:18 やがてその年も終わり、次の年にも人々はヨセフのところに来て言った。「私たちはあなた様に何も隠しません。銀も尽き、家畜の群れもあなた様のものになったので、自分のからだ土地のほかに、あなた様の前に何も残っておりません。」

47:19 どうして私たちが、土地と一緒にあなた様の前で死んでよいのでしょうか。食物と引き替えに、私たちと私たちの土地を買い取ってください。私たちは土地と一緒にファラオの奴隷となります。どうか種を下さい。そうすれば私たちは生き延び、死なずにすみます。土地も荒れないでしょう。」

47:20 それでヨセフは、エジプトのすべての土地をファラオのために買い取った。エジプト人に飢饉が厳しかったので、人々がみな、自分の畑地を売ったからである。こうしてその土地は、ファラオのものとなった。

47:21 また民については、エジプトの領土の端から端に至るどこでも、彼らを町々に移動させた。

47:22 しかし、祭司たちの土地だけは買取らなかった。祭司たちにはファラオからの給与があり、ファラオが与える給与によって生活していたからである。そのため、自分たちの土地を売らなかった。

ヨセフはききんに乗じて民衆から搾取したのではなく、善政をしいたのです。古代では王が武力によって強制的に民衆から税などを取り立てるのですが、ヨセフは商取引によって平和的にその関係を築きました。また税は当時ですと収穫の5割も当たり前でしたが、2割というのは少ない割合で、民衆の生活を考えてのことでした。そしてそれによって国を安定させて、民の幸福を計ったのです。

そのような他国との違いは、やはりヨセフの信じる神への信仰から来るものです。神は正しい方であり、ヨセフと家族を助けた慈しみ深いお方です。クリスチャンである私たちも、自分に与えられた権限や能力によって神様を表すような働きをしましょう。

またヨセフの信仰は当然、神様の人格を表しています。私たちはパロにではなく、神様にささげるのですが、それは搾取などいうものではなく、主への信頼の証しです。この世のあらゆる善政よりもはるかに優る主の支配を信頼し、従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？

